



# ムギ類赤かび病を適期に防除しましょう！

令和5年3月13日発表 広島県西部農業技術指導所

赤かび病は人畜に有害なかび毒を産生する病害であり、農産物規格規定では、普通小麦及び強力小麦のうち一等、二等のものには赤かび病が0.0%（1万粒中4粒）を超えて混入してはならない、とされています。中国地方1か月予報（3月2日発表）では気温が高くなる見込みとなっており、出穂時期が早まることが予想されます。防除時期に注意しましょう。

## 防除適期

- 赤かび病は開花期に最も感染しやすいため、防除は開花始めとその7～10日後の2回防除を行いましょう。開花始めは、小麦では出穂から約7日後、大麦では出穂から約3日後です。但し、二条大麦は葎殻抽出期とその7～10日後の2回防除を行いましょう。
- 気温により出穂状況が前後するため、ほ場をこまめに巡回し、確認しましょう。

		出穂期	開花始め（穂揃期）	※葎殻抽出期（二条大麦の場合）
小麦	防除		●（1回目） ←————→ ●（2回目）	
	出穂後日数	0	7 7～10日間隔	14～17
六条大麦，キラリモチ	防除		●（1回目） ←————→ ●（2回目）	
	出穂後日数	0	3 7～10日間隔	10～13
二条大麦	防除			●（1回目） ←————→ ●（2回目）
	出穂後日数	0	3	10 7～10日間隔 17～20

出穂期：全茎の40～50%が出穂（葉鞘から穂の先端（芒を含まない）が出現）した日。

穂揃期：全茎の80～90%が出穂した日。

開花始め：1穂につき数花開花しているものが、全穂数の10～20%に達した日。

葎殻抽出期：穎の先端から葎殻が押し出される時期

## 防除薬剤について

- 薬剤散布については、農薬使用基準（使用量，希釈倍数，使用時期，使用回数等）を遵守するとともに，周辺作物への飛散防止対策を徹底してください。なお，最新の農薬情報は，農林水産省ホームページ「農薬コーナー」の「農薬登録情報提供システム（<https://pesticide.maff.go.jp/>）」を参照してください。



## お問い合わせ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム

〒739-0151

東広島市八本松町原6869

TEL：082-420-9662（直通）



ひろしま病害虫情報メルマガはここからひろしま病害虫情報メルマガ

ホームページ  
リニューアル！



ひろしま病害虫情報

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/byogaichu/>)